



「探究」学習って、なんだ？

先月20日（木）、関西国際大学の副学長、山下泰生先生（本校30回生）を講師にお迎えし、標記演題でお話をいただきました。例年は1年生の国際総合科だけがお話を伺うのですが、今回は1年生全員を対象に話していただきました。

実社会にある様々な問題は答えがひとつではなく、複数あるような場合もあるということ、課題がすでに設定されている「調べ学習」に対し、自ら疑問に感じたことを「課題」として追究することが「探究学習」であることなど、グループワークなども通じて教えていただきました。

「主体的に問題発見・解決し、協働しながら新しいものを創造していく力」が探究学習には必要だと知り、講演後の質疑応答も熱心に行われ、充実した1時間となりました。



国際総合科 特別授業

～多文化共生社会の実現に向けて～

国際総合科2年生では、4月25日（火）、三木市国際交流協会の事務局長・河越恭子さんをお迎えし、「多文化共生社会の実現に向けて ～つながり・支え合い・寄りそう～」というタイトルで特別授業をしていただきました。三木市の在留外国人の現状や協会の活動、そして後半は外国人と交流するための「やさしい日本語」について、詳しくお話を聞かせていただきました。

前号で紹介した卒業生の声にもありましたように、協会が行うさまざまな外国人支援活動に本校生徒は積極的に参加してくれています。これからも随時案内をしますので、ぜひ参加してくださいね。



JICA関西訪問！

同じく、国際総合科の行事ですが、5月2日（火）、1年1組の生徒たちが神戸市にあるJICA関西を訪問しました。職員の津田さんからJICAという組織についての説明を受けた後、実際に青年海外協力隊としてフィジーで活動なさった林一平さんのお話を伺いました。小学校での活動の様子や、フィジーの文化など、スライドを交えて聞かせていただきました。フィジーには「ケレケレ」と言って、物の所有権を主張せず、困ったときや助け



て欲しいときには互いに助け合う文化があると聞き、生徒たちは驚いていた様子でした。

ケニア弁当を美味しくいただいた後は、以前青年海外協力隊としてマラウイで活動した経験のある津田さんの指導で「SDGsでマラウイでプロジェクトを立ち上げよう！」というグループワークを行い、SDGsや海外交流についてアクティブに学ぶことができました。

国際的に視野を広げる、貴重な一日となったようです。



国際総合科4期生からのメッセージ(2)

「海外留学のススメ」

Brigham Young University I・A さん

僕は74回生で、去年の春の卒業生です。

高校卒業後、アメリカのユタ州に留学をしています。

皆さんもせっかく国際総合科に入ってるなら、あるいは国際交流行事の多い三木高に
いるなら、将来いつか海外に行って学んで、生活とか体験して欲しいなあって思います。

正直、アメリカに行くときは色々と不安だったけど、向こうで学校が始まった2週間
後には現地のアメリカ人やメキシコ人、韓国人などといつものまにか友達になっていま
した。今は楽しく過ごしています。

留学って聞くと、たぶんみんなが思うイメージは、「英語が得意な人が行く」とか、
「お金持ちが行く」みたいなイメージがあると思いますが、、、確かに「お金がかかる」
のは事実ですが、「英語が得意な人だけが行く」というのは違うと思います。留学し
ている日本人の中にはbe動詞すら分からない子もいたし、逆に、30代で小学生の先生
が休職して留学しにきてたりもしました。

三木高にはパトリックとルイズもいるのでアメリカとイギリスについてよく聞くのも「あり」だ
と思います。(今はチェンとアレックスも！)

今はコロナもだんだんと終息へと向かってるので、僕以外にも同じ74回生の子たちの中
で、アメリカや中国、カナダなどに留学へ行く子が増えてます。皆さんも、ぜひ、進路の選
択肢に海外留学を入れてみてください。



3-47 2020/4/27

GWが終わり、各学年最初の定期考査も終了しました。1学期も後半に向かいます。

GWの話。1948（昭和23）年の「国民の祝日に関する法律」施行により、4月29日（当
時の天皇誕生日）から5月5日（「こどもの日」1948年設定）に休日・祝日が集中するこ
ととなりました。この期間を「ゴールデンウィーク」と呼んでいますが、そもそもは、この
時期に正月やお盆以上の観客を動員しようと企図した映画会社の社長が1950年代初めに用
いた宣伝用語が広がったものだそうで、和製英語（英語を材料に英語風に創作した日本だけ
で通用する言葉）です。

外国人（特に日本に馴染みのない人）と交流する際、和製英語は要注意です。生活関連で
は「ドライバー」「コンセント」「ペットボトル」「マフラー」「ワイシャツ」「トレーナー」
などなど…。「あれっ、これも！」というものもあるので、ホームステイを含む海外交流研
修を希望している人、将来留学を希望している人、そして興味がある人は調べてみましょう。

ちなみに、NHKや一部の民放では、GW期間を原則「(春の)大型連休」と呼ぶそうです。

〔国際・探究推進部長 田尻 淳〕

tagebuch im ausland studieren

『独日 留学日乗』

ドイツからの留学生・小林克海セドリックさんにとっては、
毎日が目新しいことだらけの様子。毎日英語の「日誌」を提出
してくれているのですが、その中からトピックスを紹介します。

昨年度末には音楽の授業の発表会にも参加し、ピアノの腕前
を披露してくれました。「みんなの前で少し緊張した」とのこと。

イラストは、クラスメイトのA・Mさん（3年1組）です。

